法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	基礎演習	法学	憲法総論・統治機構論	民法総則	政治学	政治学原論	憲法人権論	法学部生のための数理	法学部生のための論理
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力			○		○	○	○		
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力			○				○		
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力		○		○					
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力		○				○			
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力				○					
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力			○	○			○		
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力					○				
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力									
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力									
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力									
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力	○								
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力	○					○			
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力									
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力								○	
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力	○								○
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力									○

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	AF for PHR 1	AF for PHR 2	AF Tutorial 1	AF Tutorial 2	PHR 短期海外研修	テーマゼミ（櫻井）	テーマゼミ（那須川）	テーマゼミ（南方）	テーマゼミ（藤岡）
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力									
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力									
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力						○			
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力									
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力	○	○	○	○					
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力	○	○	○	○	○				
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力							○		
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力						○		○	○
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力									
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力									
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力					○	○	○	○	○
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力					○		○	○	○
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力									

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	テーマゼミ（浜四津）	テーマゼミ（池田）	テーマゼミ（中山雅）	テーマゼミ（岡部）	テーマゼミ（吉良）	テーマゼミ（飯田）	テーマゼミ（土井）	テーマゼミ（川口）	テーマゼミ（前田）
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力	○								
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力	○								
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力					○			○	
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力				○					
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力									
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力									○
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力						○			
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力	○					○	○		
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力							○		○
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力			○		○	○			
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力									
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力					○				
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力		○	○	○				○	○
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力			○	○			○	○	

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	テーマゼミ（白鳥）	刑法総論	刑法各論	物権法	債権総論	行政法総論	行政救済法	ビジネス＆ロー・ワークショップ　Ⅰ	ビジネス＆ロー・ワークショップ　Ⅱ
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力							○		
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力	○								
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力						○		○	
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力		○	○	○	○	○	○		
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力		○	○	○	○				
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力	○			○	○		○		
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力									
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力									
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力									
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力	○							○	○
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力								○	
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力									○
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力		○	○						
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力									○
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力									

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	会計と法　Ⅰ	会計と法　Ⅱ	企業ソーシャルキャピタルと法	企業法概説	社会保障法	公共政策論	まちづくりはちおうじ	政治学史	都市デザイン論
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力									
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力									
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力				○	○				
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力	○	○		○	○				
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力				○	○				
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力								○	
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力									
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力			○			○	○		○
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力	○	○				○	○		○
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力			○			○		○	
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力							○		
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力	○	○							
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力									
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力									

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	現代政治理論	公共政策ワークショップA	公共政策インターンシップ	国際法総論	国際法各論	国際政治論	国際人権法	国際関係史	人間の安全保障論
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力							○		
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力						○			
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力									
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力									
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力				○			○		
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力							○		
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力	○				○	○		○	○
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力				○					
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力									
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力		○	○		○	○		○	○
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力		○	○						
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力				○	○			○	○
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力			○						
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力	○								
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力		○							
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力									

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	人間の安全保障ワークショップ	人間の安全保障フィールドワーク	Global Issues	Peace Studies	Area Studies from International Law	International Relations	国際平和・外交インターンシップ	英米法	平和学
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力									
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									○
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力									
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									○
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力									
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力									
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力						○		○	
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力				○	○	○	○	○	
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力			○	○	○	○	○		
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力								○	
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力		○							
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力	○	○							○
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力		○					○		
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力			○						
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力	○		○	○	○				
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力	○								

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	法哲学	Introduction to Legal Studies	International Environmental Policy	債権各論	親族・相続法	民事訴訟法	民事救済手続法	刑事訴訟法	会社法
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力									
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力	○					○			
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力				○	○	○	○	○	○
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力				○	○		○		○
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力				○	○		○		○
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力		○	○						
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力		○	○						
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力		○	○						
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力									
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力									
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力	○								
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力									
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力	○					○			
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力									
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力									

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	有価証券法	ビジネス＆ロー・ワークショップⅢ	労働法	知的財産法	租税法	消費者法	金融商品取引法	ビジネス法務インターンシップ	行政学
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力									
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力					○				
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									○
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力	○		○	○		○	○		
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力	○		○	○	○		○		
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力	○		○		○	○	○		
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力									
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力									
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力									○
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力						○			
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力		○		○					○
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力		○						○	
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力									
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力		○							
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力									

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	環境法	地方自治論	地域コミュニティ論	NPO論	環境行政学	グローバル都市協力論	公共政策チュートリアル	公共政策ワークショップB	国際私法
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力		○							
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力									○
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力	○				○				
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力	○								
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力									○
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力						○			○
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力									
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力									
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力		○	○	○	○	○	○	○	
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力			○	○			○	○	
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力		○	○	○	○	○			
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力									
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力									○
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力							○	○	
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力									

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	国際機構論	EU法	日本政治外交史	グローバル経済論	国際開発協力論	地球市民社会論	グローバル企業論	Global Public Policy	International Human Rights
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力									
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力									
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力			○						
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力									
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力									
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力	○	○							○
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力		○			○	○	○	○	○
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力								○	○
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力	○	○							
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力									
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力	○		○	○	○	○	○	○	
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力									
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力			○	○			○		
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力				○					
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力					○				

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	国際平和・外交チュートリアル	刑事政策	比較憲法	法思想史	法社会学	法史学	アジア法	日本政治思想史	Environmental Law
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力									
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力				○	○	○		○	
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力					○	○			○
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力									○
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力									
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力					○				
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力			○				○		
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力			○	○			○		
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力									
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力		○						○	
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力		○							
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力	○	○			○				
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力									
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力			○	○		○	○		
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力	○								
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力	○								

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	The Common Law	水法演習	GLPチュートリアル	GLPゼミ	GLP発展ゼミ（憲法）	GLP発展ゼミ（民法）	GLP発展ゼミ（刑法）	GLP English A	GLP English B
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力									
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力									
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力							○		
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力					○	○	○		
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力		○		○					
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力	○								
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力								○	○
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力	○							○	○
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力									
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力		○	○		○				
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力		○		○					
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力									
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力			○		○		○		
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力						○			
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力				○		○			

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	演習Ⅰ～Ⅳ（塩津）	演習Ⅰ～Ⅳ（白石）	演習Ⅰ～Ⅳ（加賀）	演習Ⅰ～Ⅳ（花見）	演習Ⅰ～Ⅳ（池田）	演習Ⅰ～Ⅳ（松田健）	演習Ⅰ～Ⅳ（飯田）	演習Ⅰ～Ⅳ（小島）	演習Ⅰ～Ⅳ（長田）
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力									
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力								○	
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力									○
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力				○					○
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力	○					○			
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力	○					○			
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力									
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力						○			
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力		○							
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力							○		
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力									
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力			○	○			○	○	○
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力	○	○	○	○	○		○	○	
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力			○				○		

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	演習Ⅰ～Ⅳ（中山雅）	演習Ⅰ～Ⅳ（松田佳）	演習Ⅰ～Ⅳ（宮崎）	演習Ⅰ～Ⅳ（岡部）	演習Ⅰ～Ⅳ（土井）	演習Ⅰ～Ⅳ（山田）	演習Ⅰ～Ⅳ（三宅）	演習Ⅰ～Ⅳ（朝賀）	演習Ⅰ～Ⅳ（前田）
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力									
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力									
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力									
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力									
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力		○	○						
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力				○					
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力									
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力									○
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力									
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力					○			○	
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力					○	○			
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力	○			○					○
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力									
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力		○					○		○
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力	○	○	○			○	○		
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力	○		○	○	○	○	○	○	

法学部カリキュラムチェックリスト

ラーニングアウトカム	細　目	就業力	演習Ⅰ～Ⅳ（中山賢）	演習Ⅰ～Ⅳ（須藤）	演習Ⅰ～Ⅳ（南方）	演習Ⅰ～Ⅳ（黒木）	演習Ⅰ～Ⅳ（尹）	演習Ⅰ～Ⅳ（佐瀬）	演習Ⅰ～Ⅳ（西山）
1. 日本国憲法をはじめとする一連の法令によって構成されているわが国の統治機構を理解すると共に、基本的人権の尊重および民主主義の理念について深く理解する。	日本の統治機構、基本的人権の尊重、民主主義の理念について理解している。	論理的思考力							
	日本国憲法の基本原理を学び、その中から課題を発見することができる。	課題設定力							
2. 日本国の法体系、政治形態を学んで、各制度等の基礎となる価値観、歴史、基本原則について正確に理解する。	法体系や政治形態の基礎となる価値観、歴史、基本原則を正確に理解している。	論理的思考力							
	わが国の法体系や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力							
3. 日本国の法律、判例を学び、条文の多様な解釈、原則と例外、法と現実との調整の問題等を理解して、柔軟な思考方法を身につける。	法律の基本的な用語を知り、説明することができる。	言語表現力						○	
	判例を学び、法律の解釈の違いの背景を理解し、説明することができる。	言語表現力					○	○	○
	法と現実の間にある隔たりを通して、その中から課題を発見することができる。	課題設定力							
4. 外国の法制度や政治形態を学び、その概要と理念を理解する。	外国の法制度や政治形態についての適切な知識を修得している。	論理的思考力							
	外国の文化や伝統を学ぶことにより、既成概念にとらわれず、多元的視点から社会の実像をとらえることができる。	創造的思考力							
	外国法、平和・人権・環境の問題に関連する諸分野についての講義を英語で理解し、質問することができる。	言語表現力							
5. 国内および国際社会における法律上または政策上の課題を発見し、専門的に分析して、問題を掘り下げることができる。	国内外の出来事について法律や公共政策に関する課題を発見することができる。	課題設定力				○			○
	課題把握に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、問題点を掘り下げることができる。	数量的分析力 創造的思考力	○	○	○	○			
	国内または国際的な問題について様々な視点から思考を展開し、論理的に説明することができる。	論理的思考力 言語表現力							
	法律事務所・公共機関・民間組織における体験を通じて、現実的な諸課題を把握する。	課題設定力 目標達成力							
6. 様々な価値観や利害の異なる他者の多様な見解を理解し、論点等を発表すると共に、他者と議論することができる。	異なる価値観、あるいは異なる利害に基づく他者の見解の利点および欠点を把握し、理解することができる。	創造的思考力 論理的思考力			○		○		○
	プレゼンテーションにおいて、明確に論点を伝えることができる。	自己育成力 言語表現力	○	○	○	○	○	○	○
	意見の異なる他者と議論し、コンセンサスを見出す努力をすることができる。	討議推進力 対人基礎力	○	○					